

平成29年度 第12回 役員会議事要旨

日 時 平成29年10月11日（水） 10時30分～11時55分

場 所 学長室

出席者 学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，和田理事，吉田理事

欠席者 なし

陪席者 佐々木監事，米山附属図書館長，西郡アドミッションセンター長

○ 学長から，平成29年度第9回役員会議事要旨の確認依頼があった。

1 審議事項

- (1) 平成29年度評価反映特別経費に係る業務の評価の配分基準等の改正（案），平成29年度評価反映特別経費（業務の評価）の評価結果及び予算配分（案）について

学長から，本件について，平成29年7月19日役員会決定の「平成29年度評価反映特別経費に係る業務の評価の配分基準等について」について一部改正を行い，同基準に基づき，業務の評価を実施し，評価結果に応じた予算を配分するものである旨の説明があった。

次いで，後藤理事から，詳細なIRデータに基づいて各部局への配分額を算出している旨の説明があり，審議の結果了承された。

- (2) その他

特になし。

2 協議事項

- (1) バイオ産業大学（フランス）との大学間学術交流協定の締結について

学長から，本件について，本学との学生交流を要望しているフランスのバイオ産業大学（E B I）との間に大学間学術交流協定を締結するものである旨の説明があった。

次いで，国際課長から，E B Iは，バイオテクノロジーを中心とした高度専門教育を行う私立のグランゼコール（フランスの大学院修士レベルの高度専門職養成機関）で，5年次に半年間，長期インターンシップや留学を必須とするカリキュラムを有しており，その受入先を探していたところ，ジャパン・コスメティック・センターを通じた農学部との交流及び平成28年10月の本学訪問を契機とし，本学との学生交流の要望を持つに至り，現在，工学系および農学研究科において，平成30年度より1学期に最大

3名の修士課程レベルの学生の受入・派遣を目指し、具体的な検討を進めている旨、細部については調整中のため、今回学生交流覚書は締結せず、包括的内容の協定のみ締結し、協定締結期間は5年間で、両者の合意をもって延長可とする旨、今後のスケジュールとしては、E B I 学長の佐賀県訪問に合わせ、本学において協定締結式を予定している旨の説明があり、協議の結果了承され、教育研究評議会及びその後の役員会で審議されることとなった。

(2) 平成30年度以降の電子ジャーナル等の契約について

学長から、本件について、平成30年度以降の中央経費による電子ジャーナル及び文献データベースの契約について、所管の委員会等の検討に基づく方針案を説明するものである旨の説明があった。

次いで、附属図書館長から、これまでの経緯について、平成27年9月の役員会において、平成28～29年度の2年間の電子ジャーナル及び文献データベースの経費負担について、7,500万円の中央経費を維持することが了承され、また、平成30年度以降については平成29年度上半期に關係の専門委員会及び部局において検討し、これらの検討結果を踏まえ、平成29年10月4日開催の第4回附属図書館運営委員会にて方針案を決定したものである旨の説明があり、具体的には、エブスコは平成30年度より中止し、それ以外の電子ジャーナル及び文献データベースは継続契約し、契約内容の適用期間は平成30年度の1年間とするが、エルゼビアのパッケージは利用度が高いため、単年契約と比較してより安価な3年契約を選択する旨、また、経費負担については、平成30年度に継続契約する電子ジャーナル及び文献データベースの必要経費は中央経費により措置し、平成31年度以降については、引き続き電子ジャーナル等検討専門委員会で検討を行う旨の説明があり、協議の結果了承され、教育研究評議会及びその後の役員会で審議されることとなった。

(3) その他

特になし。

3 意見交換

○ 佐賀大学版C B T開発の現状について

学長から、佐賀大学版C B T開発の現状について問題提起があり、その後意見交換が行われた。

4 その他

特になし。

以 上